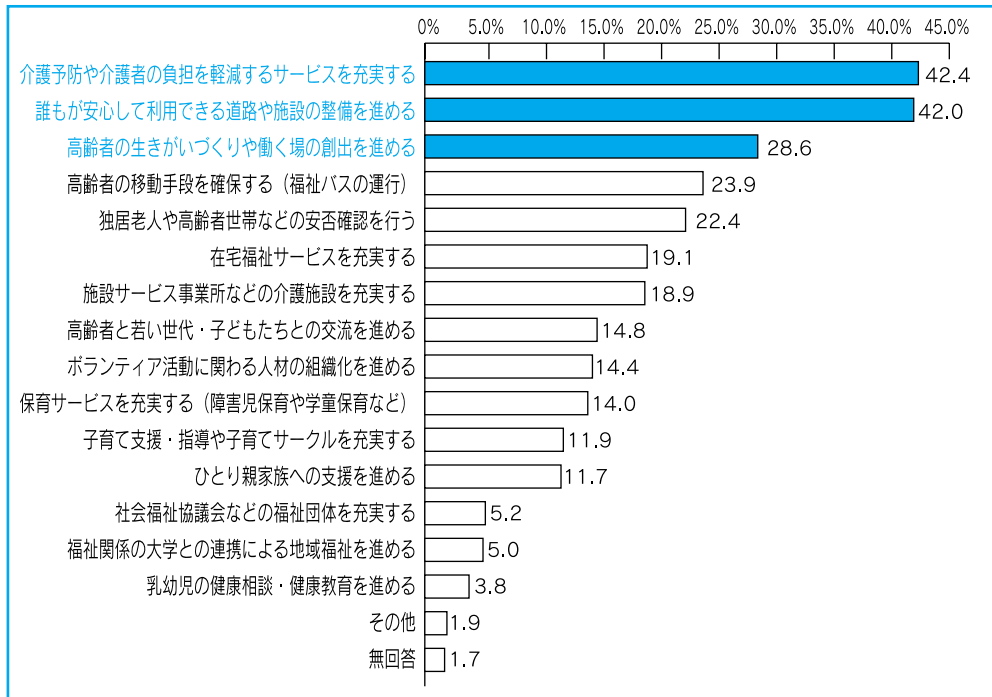


2.まちづくり施策の方向

(1) 保健・医療・福祉

① 地域福祉の充実について、力を入れる分野(3つまで回答)

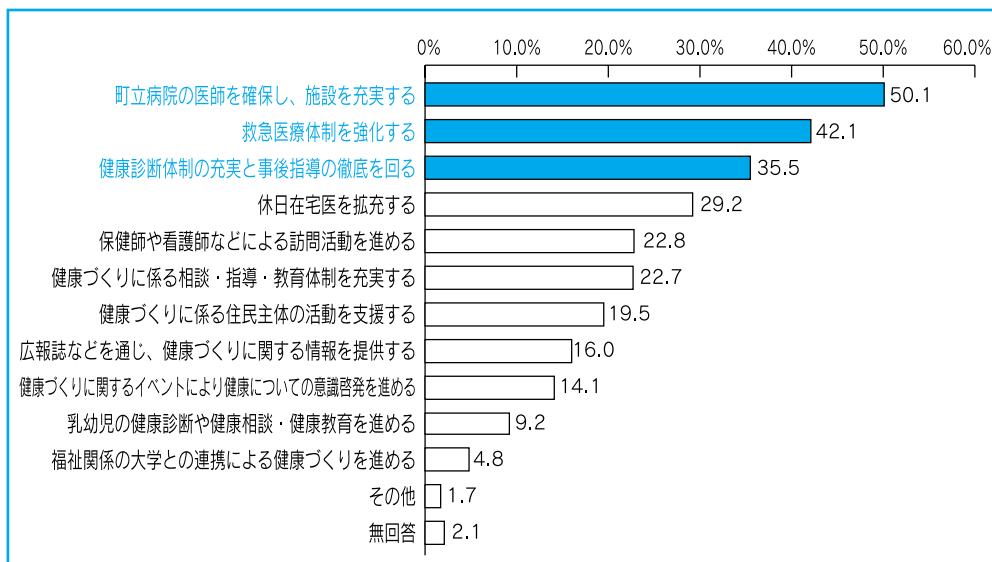


地域福祉については、特に「介護予防や介護者の負担を軽減するサービスの充実(316人、42.4%)」と「誰もが安心して利用できる道路や施設の整備(313人、42.0%)」を求める声が多かった。

最も期待が高かった「介護予防や介護者の負担を軽減するサービスの充実」を、年齢別に見ると40才～59才の年齢層が求めていることがわかる。

次いで、「誰もが安心して利用できる道路や施設の整備を進める」については、60才以上の高齢層が高い割合で望んでいる。

② 健康・医療の充実について、力を入れるべき分野(3つまで回答)



健康・医療については、「町立病院の医師を確保し、施設を充実する(376人、50.1%)」が最も多く、町立病院への期待が伺える。

次いで、「救急医療体制を強化する(316人、42.1%)」「健康診断体制の充実と事後指導の徹底を図る(266人、35.5%)」と続いた。総じて少子高齢化の現状を背景に保健・医療・福祉に対する期待は高まっている。

「町立病院の医師を確保し、施設を充実する」について、旧町別と年代別に見ると、菊水地域(62.7%)と30歳代(58.5%)が強く望んでいる。

和水町まちづくり計画(和水町総合計画)策定に係る 住民アンケート調査集計結果報告

○調査の目的

和水町では概ね10年後の未来を見据え、まちの将来像やまちづくりの基本方針、それを実現するための施策の方向等を示す「まちづくり計画」(和水町総合計画)の策定を進めております。

計画策定にあたっては、町民の皆様の町政に対するご意見・ご提案を把握し、計画に反映したいと考え、住民アンケート調査を実施しました。この度、その集計結果をお知らせします。

○調査の概要と回答者の属性

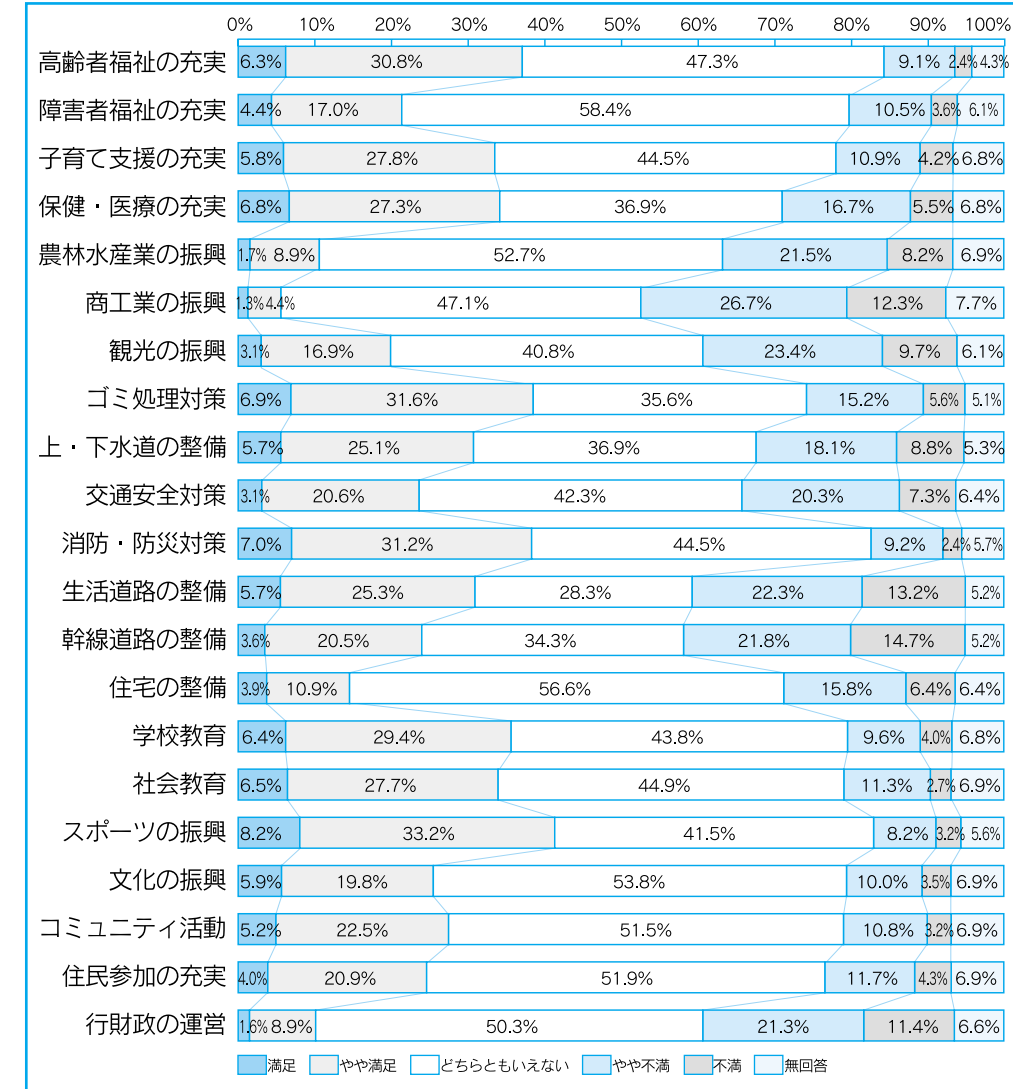
調査対象	18歳以上の町民から無作為抽出した1,500人		
調査期間	平成18年9月		
調査方法	郵送での配布・回収		
調査配布数	1,500票		
調査回収数	755票	性別	割合
回収率	50.3%	男性	42.8%
有効回答数	753票	女性	56.6%
有効回答率	50.2%	無回答	0.7%

調査内容

- アンケート調査の設問概要は、次のような構成です。
- まちづくりの課題では、合併前の旧町の施策に対する評価を尋ねています。
 - まちづくり施策の方向では、福祉・保健・医療、産業、生活環境、教育など各分野で、今後、力を入れるべきことを尋ねています。
 - 将来のまちづくりの方向では、今後力を入れるべき施策を尋ねています。
- ※ 2.まちづくり施策の方向と、3.将来のまちづくりの方向では、複数回答をお願いしていますので、各選択肢の回答割合の合計は100%にはなりません。

1.まちづくりの課題

旧町で進めてきたまちづくり施策の満足度



合併前の旧菊水町・旧三加和町で進めてきたまちづくり施策について、「満足」「やや満足」と回答した割合が最も高かったのは、「スポーツ振興(41.4%)」であった。

次いで高かったのが「ゴミ処理対策(38.5%)」「消防・防災対策(38.2%)」「高齢者福祉の充実(37.1%)」「学校教育(35.8%)」であった。

これに対して、「不満」「やや不満」と回答した割合が高かったのは、「商工業の振興(39.5%)」「幹線道路の整備(36.5%)」「生活道路の整備(35.5%)」「観光の振興(33.1%)」「行財政の運営(32.7%)」であった。

2次集計(旧町別集計)を行ったところ、特に、満足度が低かった(不満・やや不満)3項目「商工業の振興」「幹線道路の整備」「生活道路の整備」については、「商工業の振興」では旧菊水町(40.0%)と旧三加和町(39.6%)が共に高い割合で不満の意向を表わしている。「幹線道路の整備」「生活道路の整備」では旧三加和町が特に満足度が低い結果となった。



▲豊かな自然



▲活気ある産業



▲実りある農業